

京都府における平成 15 年度専門的予防接種事業の実施報告

有本 晃子、青山三智子、杉本 徹（京都府立医大）
中島 文明（国立舞鶴病院） 山添 一郎（京都府立与謝の海病院）
高屋 和志（公立南丹病院） 田村 真一（京都市立病院）
吉田 麻希（済生会京都府病院） 栗山貴久子（公立山城病院）
徳永 修（国立療養所南京都病院）
衣笠 昭彦（京都府健康福祉部健康対策課）

【はじめに】

予防接種に関する相談および情報提供を行い、接種率を向上させるため、都道府県単位の予防接種センターの設置がすすめられているが、京都府では平成 7 年より専門的予防接種事業として、より多くの子どもが接種の機会を得られることを目的とし、市町村から依頼された「接種要注意者」に対する接種を、専門的予防接種機関病院にて行っている。実施状況については、平成 10、11、13、14、15 年に本研究班総会において報告してきたが、今年度は平成 15 年 1 月から 12 月末までの結果について報告する。

【目的】

「予防接種要注意者」とされる症例の概要、接種状況および副反応について検討する。

【結果】

1 対象

申込延べ数は、229 件（男 151、女 78）であった（以下すべて延べ件数を示す）。

- ・年齢分布（図 1）
- ・ワクチン種類別申込件数（表 1）

2 申し込み時基礎疾患（表 2-1、2-2）

3 接種率（表 3）、接種方法（表 4）、皮膚テスト（表 5）

4 副反応

回答率は 83.1%（225 件中 187 件）であった。

- ・副反応内容（表 6）
広義副反応は 187 件中 47 件（25.1%）、狭義副反応は 187 件中 34 件（18.2%）にみられた。
- ・副反応出現例（表 7）

5 接種しなかった例（表 8）

【考察】

申し込み時の基礎疾患は「アレルギー疾患」が 66.8%と最も多く、昨年度までの結果と同様「接種要注意者」とされた主要な原因はアレルギー疾患であった。特に麻疹ワクチン、風疹ワクチンでは「アレルギー疾患」が 85.9、86.5%と大半であったが、DPT・DT ワクチンでは「アレルギー疾患」と「過去の予防接種後副反応」が約 5:3、日本脳炎ワクチンではほぼ同数であり、ワクチンの種類によって申し込み時基礎疾患に差が見られた。また、麻疹

ワクチン申込者で「アレルギー疾患」を基礎疾患とする者の割合が昨年の 91.2%から 85.9%と減少していたが、その多くが（86.2%）卵を除去中であり、「卵アレルギー」が麻疹ワクチン接種におけるリスクとして認識されているという傾向は変わっていないと考えられる。

接種率は今回 98.3%と本事業が始まって以来最高となった。チメロサルを除去したワクチンが順次発売されているが、ワクチンのさらなる改良が進めば、今後も接種率は高い水準で推移するものと予想される。

接種方法は、大部分が規定量を接種していたが、減量接種をした例が 9 例あり、減量した理由は「皮内反応陽性」、「分割接種 1 回目で接種部位腫脹」、「過去の同一ワクチンでの副反応の既往」などであった。また「接種しなかった例」は 4 例であったが、「接種しなかった理由」は「皮内テスト陽性」、「皮内テスト疑陽性かつアナフィラキシーの既往」であった。

皮内テストは 73 例、プリックテストは 29 例に施行されたが、陽性例がそれぞれ 10 例、1 例あった。皮内テスト陽性例で接種を行った例は 7 例であったが、そのうち副反応が出現した例が 2 例であった。いずれも軽度発熱、発疹で、急性症状が出現した例はなかった。

副反応については、出現頻度は厚生労働省「予防接種後健康状況調査」などと比較しても、特に高率ではなかった。また、アナフィラキシーなど重篤な急性副反応を来した例はなかった。症例 12 は種々の化学物質にアレルギー反応を来す例であり、前回同一ワクチンでも咽喉頭症状などがあつた。症例 28 は乳児肝炎を基礎疾患にもつ症例であり、ワクチン接種後水痘罹患し、肝機能異常がみられたため入院加療を要したが、ワクチンとの関連については不明であった（表 7）。

図1 申込者年齢分布

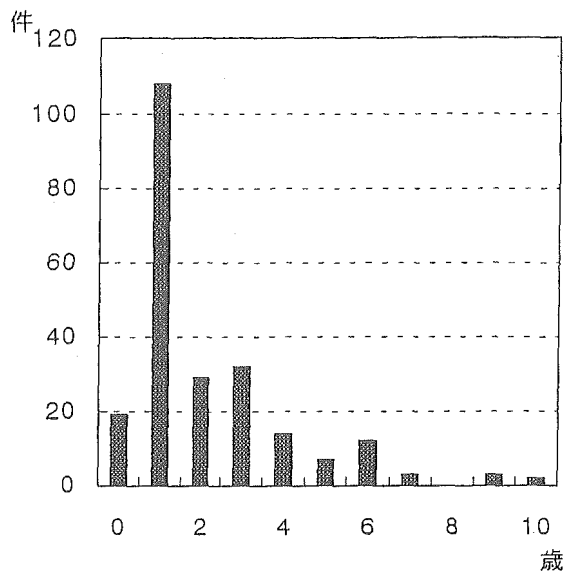


表2-1 申し込み時基礎疾患 (件、重複あり)

アレルギー疾患 153	食物アレルギー	118
	アトピー性皮膚炎	50
	気管支喘息	27
	アナフィラキシー	22
	薬剤アレルギー	12
過去の予防接種副反応 44		
神経疾患 38	熱性けいれん	20
	てんかん	9
	その他	10
その他 28	ダウン症候群	7
	肝胆道疾患	4
	血液疾患	4
	超低出生体重児	3
	体重増加不良	3
	循環器疾患	2
	その他	6

表1 ワクチン種類別申し込み件数

DPT1期1回目	7
DPT1期2回目	15
DPT1期3回目	18
DPT1期追加	16
DT1期1回目	1
DT1期2回目	1
日脳1期1回目	16
日脳1期2回目	19
日脳1期追加	9
日脳2期	5
麻疹	85
風疹	37

表2-2 ワクチン別基礎疾患

(表内数字上段件数、重複あり)

	アレルギー疾患	予防接種後副反応	神経疾患
DPT・DT	27 48.2%	17 30.4%	14 25.0%
日脳	21 42.9%	22 44.9%	11 22.4%
麻疹	73 85.9%	2 2.4%	8 9.4%
風疹	32 86.5%	3 8.1%	3 8.1%

表3 接種率

	平成7-9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	計
接種する	69	116	191	183	218	225	225	1227
接種しない	8	5	9	8	12	12	4	58
合計 (件)	77	121	200	191	230	237	229	1285
接種率 (%)	89.6	95.9	95.5	95.8	94.8	94.9	98.3	95.5

表4 接種方法 (件)

1回で規定量	203
1回で減量	6
分割で規定量	13
分割で減量	3

表5 皮膚テスト結果（件）

皮内テスト	
陽性	10
疑陽性	5
陰性	58

皮膚テスト判定基準

・皮内テスト

陽性
疑陽性
陰性

膨疹9mm以上または発赤20mm以上
対照より膨疹、発赤が大きい
が上記反応以下
対照反応と同等またはそれ以下

ブリックテスト	
陽性	1
陰性	28

・ブリックテスト

陽性
陰性

膨疹5mm以上または対照の発赤に比べ著明に強い
膨疹4mm以下

表6 ワクチン別副反応内容（件、重複あり）

広義副反応

	麻疹	風疹	DPT・DT	日脳	計
局所症状	0	0	12	2	14
発熱	9	1	5	4	19
発疹	6	3	1	0	10
その他	6	1	1	2	9

狭義副反応

	麻疹	風疹	DPT・DT	日脳	計
局所症状	0	0	5	0	5
発熱	8	1	5	4	18
発疹	6	3	1	0	10
その他	6	0	0	2	8

副反応定義

[広義副反応]

副反応調査はがきに記入されたすべての症状

[狭義副反応]

局所反応

径5cm以上の発赤、腫脹、1か月以上残存する硬結、
著しい搔痒、のいずれかを伴うもの

その他の副反応

ワクチン接種後に出現した症状で、明らかに他の
原因がないもの

表7 副反応出現例

症例	接種ワクチン	症状
1	DPT1期1回目	1ヶ月後も硬結残存1cm
2	DPT1期1回目	接種後1日目から、38.5°C2日間。
3	DPT1期2回目	接種当日発熱1日間
4	DPT1期2回目	接種後2日目から3日間、汗疹様発疹全身
5	DPT1期3回目	接種当日接種部腫脹、発赤、微熱
6	DPT1期追加	接種後 日目に発熱、接種翌日に同部位の腫脹2日間
7	DPT1期追加	接種後5日目から3日間発熱、2日目から4日間局所腫脹、発赤10cm径。
8	日脳1期2回目	接種後4日目39.5°C、2日位続く。さらにその1週間後にも同様の発熱あり。
9	日脳1期2回目	接種後9日目、37から38.5°Cの発熱、5日間持続。接種後10日目おうと2回。
10	日脳1期2回目	接種後14日目に38°C1日間
11	日脳1期追加	接種後2日目に38.2°C1日間。
12	日脳2期	接種後3日目胸痛（ECG異常なし）、6日目嘔声2日間
13	麻疹	接種後7日目から39°C発熱3日間
14	麻疹	接種後7日目より38から39度台の発熱4日間
15	麻疹	接種後6日目に発熱、1日間
16	麻疹	接種後9日目に発熱1日間
17	麻疹	接種後7日目より、体幹、顔に細かい発疹。10日間持続。
18	麻疹	接種後7日目より細かい発疹、約2週間
19	麻疹	接種後2日目より発熱、1日間
20	麻疹	接種後8日目に発熱、1日間。咳、喘鳴強かった。
21	麻疹	接種後8日目に発熱。
22	麻疹	接種後2日目にけいれん、11日目にも短時間のけいれん
23	麻疹	接種後約1ヶ月間、皮膚の調子が不良であった。
24	麻疹	接種後2-3日目、足、目の下に発疹。2-3日持続
25	麻疹	接種後7日目、上腕周囲に発疹、5日間持続。
26	麻疹	接種当日、接種した腕に細かい発疹、1日位持続。
27	麻疹	接種後1日目から3日間、咳、鼻汁
28	麻疹	接種後8日目より水痘発症。GOT、GPT100台と肝機能異常を認めたが、予防接種副反応か水痘合併症か判断つかず。
29	麻疹	接種後14日目に1日間、38°C
30	麻疹	発疹
31	麻疹	接種後2日目から20日間、鼻汁
32	風疹	接種後3日目、皮膚全体得に腹、背部に細かい発疹が出現、3-4週間続いた。
33	風疹	接種25分後に膨疹数個出現
34	風疹	接種当日から発熱3日間、最高39.3°C。接種後翌日から全身発疹（体幹部細かい、手足尋麻疹様）4日間。

表8 接種しなかった例

症例	接種ワクチン	理由
1	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性
2	麻疹	皮膚テスト（皮内）陽性
3	風疹	皮膚テスト（皮内）陽性
4	風疹	皮膚テスト（皮内）疑陽性、アナフィラキシー既往

大阪府下における予防接種の実施成績に関する研究

村岡 徹二、大國 英和、上田 重晴、村田 卓士

(大阪府医師会予防接種問題検討委員会委員会)

伯井 俊明 (大阪府医師会理事)

一居 誠 (大阪府健康福祉地域保健福祉室感染症・難病対策課)

半野田孝郎 (大阪府健康福祉局保健医療部感染症対策室)

大阪府下における麻しん、風しん、日本脳炎ならびに 沈降精製百日ぜきジフテリア破傷風混合ワクチン (DPT) の定期接種に関する成績

平成 14 年 4 月から平成 15 年 3 月までの一年間の大阪府下における麻しんワクチンの接種対象者は 93,309 名、接種実施者は 85,026 名で接種率は 91.1%と接種率の上昇がみられた。平成 14 年は生後 8 か月から 12 か月児に麻疹流行がみられ死亡例も報告されている。麻しんワクチンが定期接種に組み入れられて本年で四半世紀を過ぎた。当初は 60~70%の接種率であったが、ここ 8 年間の接種率は伸びている。平成 7 年の接種率は 81.2%、8 年は 83.7%、9 年は 86.0%、10 年は 81.3%、11 年は 87.8%、12 年は 83.6%、13 年は 86.1%、14 年は 91.1%と初めて 90%を超えた。

平成 6 年に予防接種法が改正されて義務より勧奨接種、集団より個別接種へと変更され、平成 7 年 4 月から風しんワクチンが定期接種に組み入れられた。風しんワクチンの好ましい接種年齢は生後 12 か月より 36 か月とされている。接種対象者は生後 12 か月より 90 か月未満と、13 歳に達する日の属する年度の初日より 15 歳に達する日の前日までの中学生を対象として実施されたが、後者は平成 15 年 9 月 30 日で自動的になくなった。同時に、昭和 54 年 4 月 2 日より昭和 62 年 10 月 1 日までに生まれた 14 歳以上の者を接種対象とした経過措置も、平成 15 年 9 月 30 日でなくなった。

平成 14 年 4 月より平成 15 年 3 月までの大阪府下における幼・小児期の風しんワクチン接種対象者は 96,681 名、接種者は 85,026 名で接種率は 87.9%と前年より高くなっている。12 歳から 15 歳の接種対象者は 71,987 名、接種者は 3,915 名で接種率は 5.4%と前年より更に低下している。

上記の接種率は個別と集団を一括した数値である。

例年同様、沈降精製百日ぜきジフテリア破傷風混合ワクチン (DPT) の接種率については、府下、各市町村により接種開始年齢が異なるため接種率の算定は不可能である。

日本脳炎ワクチンの I 期の接種は生後 6 か月より 90 か月未満となっていて、翌年追加接種を 1 回実施し、II 期は 9 歳~12 歳 (標準は小学 4 年生)、III 期は 14 歳~15 歳 (標準は中学 3 年生) となっている。平成 14 年度の II 期の接種率は 46.6%、III 期の接種率は 25.6%で I 期の接種率の算定は困難である。

最後に本調査にあたりご協力くださいました、大阪府下各市町村の予防接種担当係の方々に深く深謝します。

地 域	No.	市町村名	I 麻しん予防接種				II D P TおよびD T予防接種						
			接種対象者数	接種者数	接種率	副反応発症の有無	接種方式			接種対象者月齢			副反応発症の有無
							I 期	I 期追加	II 期	I 期	※I 期追加	II 期	
大阪府	1	大阪市	24,810	22,980	92.6%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	6～90ヵ月未満	11才～12才まで	無
	2	池田市	1,140	959	84.1%	無	個別	個別	個別	3ヵ月～7才5ヵ月	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	3	箕面市	1,100	1,093	99.4%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月まで	6ヵ月から	小学6年生	無
	4	豊能町	145	118	81.4%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで *1	11才～13才未満	無
	5	能勢町	124	123	99.2%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	6ヵ月から	11才～12才まで	無
	6	豊中市	3,935	3,728	94.7%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	90ヵ月未満	11才～13才未満	無
	7	吹田市	4,917	3,668	74.6%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	12才～13才まで 小学6年生	無
三 島	8	摂津市	1,030	940	91.3%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	12才～13才まで 小学6年生	無
	9	茨木市	3,479	2,818	81.0%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～13才まで	無
	10	高槻市	3,700	3,471	93.8%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	11	島本町	322	294	91.3%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	3～90ヵ月未満	11才～12才まで	無
北河内	12	枚方市	4,500	4,049	90.0%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	12～90ヵ月未満	11才～13才まで 小学6年生	無
	13	寝屋川市	2,516	2,375	94.4%	無	個別	個別	集団	3～90ヵ月まで	12～90ヵ月まで	小学6年生	無
	14	守口市	1,345	1,315	97.8%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	6～90ヵ月まで	11才～12才まで	無
	15	門真市	1,401	1,309	93.4%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで	無
	16	大東市	1,352	1,318	97.5%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	11才～12才まで	無
	17	四條畷市	768	703	91.5%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	6～90ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	18	交野市	1,060	958	90.4%	無	個別・集団	個別・集団	集団	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
中河内	19	東大阪市	5,268	5,131	97.4%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	20	八尾市	2,926	2,758	94.3%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	21	柏原市	884	816	92.3%	無	個別	個別	集団	3～90ヵ月まで	12～90ヵ月まで	11才～12才 小学6年生	無
南河内	22	松原市	1,446	1,302	90.0%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	6～18ヵ月まで	11才～13才まで	無
	23	羽曳野市	1,250	1,206	96.5%	無	個別	個別	集団	3～70ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	24	藤井寺市	638	637	99.8%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12～90ヵ月まで	小学6年生	無
	25	大阪狭山市	598	569	95.2%	無	集団	集団	集団	3～89ヵ月まで	12～18ヵ月まで	小学6年生	無
	26	美原町	380	332	87.4%	無	集団	集団	集団	12～72ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	27	富田林市	1,567	1,469	93.7%	無	集団	集団	集団	3～90ヵ月未満	12～90ヵ月未満	小学6年生	無
	28	河内長野市	1,192	1,080	90.6%	無	個別	個別	集団	3～90ヵ月まで	90ヵ月まで	13才まで・小学6年生	無
	29	河南町	143	126	88.1%	無	集団	集団	個別	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	30	太子町	180	152	84.4%	無	集団	集団	集団	3～90ヵ月まで	12ヵ月から	小学6年生	無
	31	千早赤阪村	40	40	100.0%	無	集団	集団	集団	3～90ヵ月まで	3～90ヵ月まで	小学6年生	無
堺市	32	堺市	7,892	7,045	89.3%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月未満	3～90ヵ月未満	11才～13才未満	無
泉 州	33	和泉市	2,117	2,040	96.4%	無	個別	個別	個別	3ヵ月～7才6月未満	12～18ヵ月まで	11才～13才まで 小学6年生	無
	34	泉大津市	1,200	962	80.2%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月まで	6～90ヵ月まで	小学6年生	無
	35	高石市	805	781	97.0%	無	集団	集団	個別・集団	6～90ヵ月未満	2ヵ月経過した90ヵ月未満	11才～13才未満 小学6年生	無
	36	忠岡町	190	179	94.2%	無	集団	集団	個別	6～90ヵ月まで	12～90ヵ月まで	小学6年生	無
	37	岸和田市	2,433	2,307	94.8%	無	個別	個別	個別	3～90ヵ月まで	90ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	38	貝塚市	1,220	1,040	85.2%	無	個別	個別	個別	3ヵ月～7才5ヵ月	12ヵ月～7才5ヵ月	11才～12才まで	無
	39	泉佐野市	1,243	1,104	88.8%	無	個別	個別	個別	6ヵ月～7才6月まで	1年～1年6ヵ月まで	小学6年生	無
	40	熊取町	415	408	98.3%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月未満	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	41	田尻町	72	63	87.5%	無	個別	個別	個別	6～90ヵ月まで	12～90ヵ月まで	11才～13才まで	無
	42	泉南市	773	506	65.5%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12ヵ月から	11才～13才まで	無
	43	阪南市	614	613	99.8%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	小学6年生	無
	44	岬町	179	141	78.8%	無	集団	集団	集団	6～90ヵ月まで	12～18ヵ月まで	11才～12才まで 小学6年生	無
	合 計			93,309	85,026	91.1%							

* 1. 1期初回(3回)完了後、1年～1年6ヵ月の間に接種

地域	No.	市町村名	Ⅲ 風 し ん 予 防 接 種									
			幼・小児期			中 学 生						
			接種対象者数	接種者数	接種率	接種対象者月齢	接種対象者数	接種者数	接種率	接種方式	副反応発症の有無	
大阪府	1	大阪市	24,810	18,758	75.6%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた方	22,840	801	3.5%	個別	無	
	豊能	2	池田市	1,140	981	86.1%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた方	2,070	77	3.7%	個別	無
		3	箕面市	1,100	959	87.2%	15才～23才まで	315	45	14.3%	個別	無
		4	豊能町	182	116	63.7%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた方(風しん予防接種未接種)	120	3	2.5%	個別	無
		5	能勢町	120	79	65.8%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた14才以上の人	931	0	0.0%	個別	無
		6	豊中市	3,913	3,111	79.5%	S54.4.2からS62.10.1までに生れでMRや風しんの予防接種未接種者	3,742	124	3.3%	個別	無
		7	吹田市	6,188	3,424	55.3%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた中学3年生	1,309	149	11.4%	個別	無
三島	8	摂津市	1,432	762	53.2%	中学3年生の一部	1,261	6	0.5%	個別	無	
	9	茨木市	5,551	2,157	38.9%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた方で従前の定期予防接種未接種者	5,620	15	0.3%	個別	無	
	10	高槻市	3,400	2,661	78.3%	14才から(S54.4.2～S62.10.1生)	3,317	72	2.2%	個別	無	
	11	島本町	326	262	80.4%	S54.4.2～S62.10.1生れ未接種者	390	2	0.5%	個別	無	
北河内	12	枚方市	5,600	3,530	63.0%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた方	36,600	116	0.3%	個別	無	
	13	寝屋川市	2,516	1,774	70.5%	15才～23才まで	4,496	115	2.6%	個別	無	
	14	守口市	1,345	1,046	77.8%	15才～23才まで	1,336	57	4.3%	個別	無	
	15	門真市	1,401	980	70.0%	14才～15才 中学2・3年生	1,035	7	0.7%	個別	無	
	16	大東市	1,352	1,107	81.9%	14才～15才まで	1,249	57	4.6%	個別	無	
	17	四條畷市	673	534	79.3%	S54.4.2～S62.10.1生風しん未罹患又は風しん予防接種未接種者	261	26	10.0%	個別	無	
	18	交野市	1,058	907	85.7%	S54.4.2からS62.10.1までに生れた中学3年生	376	2	0.5%	個別・集団	無	
中河内	19	東大阪市	4,941	4,387	88.8%	14歳から	11,333	262	2.3%	個別	無	
	20	八尾市	2,626	2,398	91.3%	15才から23才まで 中学3年生	1,163	86	7.4%	個別	無	
	21	柏原市	772	673	87.2%	すでに実施済み						
南河内	22	松原市	1,225	1,130	92.2%	中学3年生でS54.4.2からS62.10.1までに生れた者	10	10	100.0%	個別	無	
	23	羽曳野市	1,250	1,105	88.4%	S54.4.2からS62.10.1生まで	50	19	38.0%	個別	無	
	24	藤井寺市	638	549	86.1%	すでに実施済み						
	25	大阪狭山市	518	460	88.8%	中学3年生でS54.4.2からS62.10.1までに生れた者	273	4	1.5%	個別	無	
	26	美原町	384	339	88.3%	S54.4.2からS62.10.1生まで	34	20	58.8%	集団	無	
	27	富田林市	1,367	1,244	91.0%	15才から23才まで(S54.4.2からS62.10.1生)	50	23	46.0%	集団	無	
	28	河内長野市	1,025	975	95.1%	中学3年生	625	1	0.2%	集団	無	
	29	河南町	352	127	36.1%	S54.4.2からS62.10.1生まで	76	2	2.6%	個別	無	
	30	太子町	180	109	60.6%	S54.4.2からS62.10.1生まで	57	1	1.8%	個別	無	
	31	千早赤阪村	64	44	68.8%	S54.4.2からS62.10.1生まで	96	1	1.0%	個別	無	
	堺市	32	堺市	7,892	7,734	98.0%	S54.4.2からS62.10.1生まで	3,018	339	11.2%	個別	無
泉州	33	和泉市	2,117	1,958	92.5%	S54.4.2からS62.10.1生まで	650	93	14.3%	個別	無	
	34	泉大津市	1,200	942	78.5%	16才から24才(S54.4.2からS62.10.1生 14才以上)	100	36	36.0%	個別	無	
	35	高石市	829	647	78.0%	S54.4.2からS62.10.1生まで	12	4	33.3%	個別	無	
	36	忠岡町	256	190	74.2%	S54.4.2からS62.10.1生まで	168	2	1.2%	個別	無	
	37	岸和田市	2,233	1,947	87.2%	13才～15才まで 中学2年生	2,177	782	35.9%	個別	無	
	38	貝塚市	1,337	1,113	83.2%	S54.4.2からS62.10.1生まで	834	54	6.5%	個別	無	
	39	泉佐野市	1,043	1,029	98.7%	S54.4.2からS62.10.1生まで	9,474	396	4.2%	個別	無	
	40	熊取町	415	405	97.6%	S54.4.2からS62.10.1生まで	586	14	2.4%	個別	無	
	41	田尻町	82	65	79.3%	S54.4.2からS62.10.1生まで	684	0	0.0%	個別	無	
	42	泉南市	933	509	54.6%	S54.4.2からS62.10.1生まで	896	8	0.9%	集団	無	
	43	阪南市	714	638	89.4%	S54.4.2からS62.10.1生で未接種の方	2,384	6	0.3%	集団	無	
	44	岬町	181	137	75.7%	13才～15才まで 中学2年生	79	78	98.7%	集団	無	
	合 計			96,681	74,002	76.5%	—	122,097	3,915	3.2%	—	—

地域	No.	市町村名	IV 日 脳 予 防 接 種										副反応発症の有無
			II 期					III 期					
			接種対象者月齢	接種対象者数	接種者数	接種率	接種方式	接種対象者月齢	接種対象者数	接種者数	接種率	接種方式	
大阪市	1	大阪市	9才～13才未満	20,780	5,207	25.1%	個別	14才～15才まで	23,288	1,390	6.0%	個別	無
豊能	2	池田市	9才～12才まで 小学4年生	1,190	539	45.3%	個別	14才～15才まで 中学3年生	1,080	461	42.7%	個別	無
	3	箕面市	9才～13才未満 小学4年生	1,160	639	55.1%	個別	14才～16才未満 中学3年生	1,350	350	25.9%	個別	無
	4	豊能町	9才～13才未満	246	183	74.4%	個別	14才～16才未満	306	162	52.9%	個別	無
	5	能勢町	9才～13才まで 小学4年生	179	110	61.5%	個別	13才～15才まで 中学2年生	177	51	28.8%	個別	無
	6	豊中市	9才～13才になるまで	3,580	1,034	28.9%	個別	14才～16才になるまで	3,772	388	10.3%	個別	無
	7	吹田市	9才～13才まで 小学4年生	3,227	1,319	40.9%	個別	14才～16才まで 中学3年生	3,037	335	11.0%	個別	無
	三島	8	摂津市	9才～13才まで 小学4年生	770	271	35.2%	個別	14才～15才まで 中学3年生	745	74	9.9%	個別
9		茨木市	9才～13才まで 小学4年生	2,388	1,131	47.4%	個別	14才～16才まで 中学3年生	2,640	530	20.1%	個別	無
10		高槻市	9才～12才まで	3,031	1,401	46.2%	個別	14才～15才まで	3,317	555	16.7%	個別	無
11		島本町	9才～12才まで	291	270	92.8%	個別・集団	14才～15才まで	354	279	78.8%	個別	無
北河内	12	枚方市	9才～13才未満 小学4年生	3,867	3,488	90.2%	集団	14才～15才未満 中学3年生	3,825	2,714	71.0%	集団	無
	13	寝屋川市	9才～13才まで 小学4年生	2,279	1,673	73.4%	集団	14才～15才まで 中学3年生	2,179	796	36.5%	集団	無
	14	守口市	9才～12才まで	1,380	97	7.0%	個別	14才～15才まで	1,336	13	1.0%	個別	無
	15	門真市	9才～12才まで	1,234	132	10.7%	個別	14才～15才まで	1,140	19	1.7%	個別	無
	16	大東市	9才～12才まで	1,222	194	15.9%	個別	14才～15才まで	1,249	32	2.6%	個別	無
	17	四條畷市	9才～12才まで 小学4年生	582	195	33.5%	個別	14才～15才まで 中学2年生	573	63	11.0%	個別	無
	18	交野市	9才～12才まで 小学4年生	878	724	82.5%	集団	14才～15才まで 中学3年生	752	448	59.6%	集団	無
中河内	19	東大阪市	9才～13才まで 小学4年生		* 1		個別	14才～16才まで 中学3年生		* 1		個別	無
	20	八尾市	9才～10才まで 小学4年生	2,636	896	34.0%	個別	14才～15才 中学2・3年生	2,260	321	14.2%	個別	無
	21	柏原市	9才～13才まで 小学4年生	807	709	87.9%	集団	14才～15才まで 中学3年生	748	480	64.2%	集団	無
南河内	22	松原市	小学5年生	1,980	594	30.0%	集団	中学3年生	1,063	319	30.0%	集団	無
	23	羽曳野市	9才～12才まで 小学4年生	1,300	1,129	86.8%	集団	14才～15才まで 中学3年生	1,100	921	83.7%	集団	無
	24	藤井寺市	小学4年生と未接種の5・6年生	605	600	99.2%	集団	14才以上の中学2・3年生	633	488	77.1%	集団	無
	25	大阪狭山市	9才～13才未満 小学3年生	527	441	83.7%	集団	14才～15才まで 中学3年生	547	442	80.8%	集団	無
	26	美原町	9才～12才まで 小学4年生	351	325	92.6%	集団	14才～15才まで 中学3年生	344	279	81.1%	集団	無
	27	富田林市	小学4年生	1,549	1,429	92.3%	集団	中学3年生	1,423	1,059	74.4%	集団	無
	28	河内長野市	13才まで・小学4年生	1,228	1,104	89.9%	集団	16才まで・中学3年生	1,249	907	72.6%	集団	無
	29	河南町	9才～12才まで 小学4年生	256	149	58.2%	集団	14才～15才まで 中学3年生	168	118	70.2%	集団	無
	30	太子町	小学4年生	184	174	94.6%	集団	中学3年生	187	140	74.9%	集団	無
	31	千早赤阪村	小学4年生	61	58	95.1%	集団	中学3年生	61	50	82.0%	集団	無
堺市	32	堺市	3才～7.5才未満	7,249	3,775	52.1%	個別	14才～16才未満	7,081	2,080	29.4%	個別	無
泉州	33	和泉市	9才～13才まで 小学4年生	1,987	1,139	57.3%	個別	14才～16才まで 中学3年生	1,969	797	40.5%	個別	無
	34	泉大津市	9才～12才まで	850	311	36.6%	個別	14才～15才まで	750	158	21.1%	個別	無
	35	高石市	9才～13才未満 小学4年生	577	516	89.4%	個別・集団	14才～16才未満 中学3年生	521	442	84.8%	個別・集団	無
	36	忠岡町	小学4年生	159	102	64.2%	個別	中学2年生	168	16	9.5%	個別	無
	37	岸和田市	9才～12才まで 小学4年生	2,252	1,323	58.7%	個別	14才～15才まで 中学3年生	2,110	682	32.3%	個別	無
	38	貝塚市	9才～12才まで	983	562	57.2%	個別	14才～15才まで	809	260	32.1%	個別	無
	39	泉佐野市	小学4年生	1,058	621	58.7%	個別	中学3年生	970	369	38.0%	個別	無
	40	熊取町	9才～12才まで 小学4年生	478	325	68.0%	個別	14才～15才まで 中学3年生	489	252	51.5%	個別	無
	41	田尻町	9才～13才まで	79	55	69.6%	個別	14才～16才まで	63	28	44.4%	個別	無
	42	泉南市	9才～13才まで	767	201	26.2%	集団	14才～16才まで	752	45	6.0%	集団	無
	43	阪南市	小学4年生	631	582	92.2%	集団	中学3年生	695	317	45.6%	集団	無
	44	岬町	9才～12才まで 小学4年生	180	171	95.0%	集団	15才まで 中学3年生	197	185	93.9%	集団	無
合計				77,018	35,898	46.6%			77,477	19,815	25.6%		

* 1. II期とIII期は委託単価が同じなため、分けてコンピュータ入力をしておりませんので、合わせた数になります。

地域	No.	市町村名	ワクチンの購入方法			ワクチンの添加物等に関する医師会からの要望			接種負担金							
			1	2	3	1	2	回答なし	麻疹	DPT	D T	風疹(幼・小)	風疹(中学)	日脳(I)	日脳(II)	日脳(III)
大阪市	1	大阪市			○★1			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
豊能	2	池田市			○★2			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	3	箕面市			○★3			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	4	豊能町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	5	能勢町			○★4		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	6	豊中市			○★5		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	7	吹田市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	8	摂津市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
三島	9	茨木市			○★6			○	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	10	高槻市	○			○★7			公費・個人	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	11	島本町		○				○	公費・個人	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
北河内	12	枚方市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	☆1	公費	公費
	13	寝屋川市			○★8		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	14	守口市			○★9		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	15	門真市			○★10		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	16	大東市			○★11		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	17	四條畷市			○★12		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	18	交野市	○★13				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
中河内	19	東大阪市			○★14		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	20	八尾市			○★15		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	21	柏原市	○			○★16			公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
南河内	22	松原市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	23	羽曳野市			○★17				公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	24	藤井寺市			○★18		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	25	大阪狭山市	○			○★19			公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	26	美原町			○★20	○★21			公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	27	富田林市			○★22	○★23			公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	28	河内長野市			○★24		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	29	河南町			○★25		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	30	太子町			○★26	○★27			公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	31	千早赤阪村			○★28		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	堺市	32	堺市			○★29		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
泉州	33	和泉市			○★30		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	34	泉大津市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	35	高石市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	36	忠岡町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	37	岸和田市			○★31		○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	38	貝塚市			○★32				公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	39	泉佐野市	○			○★33			公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	40	熊取町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	41	田尻町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	42	泉南市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	43	阪南市	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	44	岬町	○				○		公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費	公費
	合計			—			—									

★1各医療機関で購入 ★2各医療機関でワクチンを購入 ★3医師会購入 ★4価格の低いメーカーのワクチンを購入して配布
★5各医療機関でそれぞれ希望のメーカーのワクチンを購入 ★6医師会が購入し、各医療機関に配布 ★7より添加物の少ないメーカーのワクチンを使用したい。
★8集団接種のワクチンは市町村で購入しているが、日脳のワクチンは入札後購入。メーカーは指定していない。個別接種のワクチンは各医療機関で購入。
★9各医療機関で購入。市は関与せず。 ★10各医療機関で購入 ★11各医療機関が独自に購入 ★12各医療機関に一任
★13各種ワクチンを購入するにあたり、市医師会の予防接種担当医師と協議のうえ、購入している。 ★14医療機関が独自で購入 ★15各医療機関で購入
★16チメロサルが比較的少ないもの。ゼラチンフリーのもの。 ★17集団接種はメーカー入札、個別接種は医療機関が独自に発注。
★18集団接種については医師会に相談しメーカーを決める。(チメロサルの含有量の少ないもの等) ★19チメロサル減量又は除去製法
★20麻疹は各医療機関の判断でワクチン購入 ★21ゼラチンフリー ★22個別接種については、ワクチン込みとなっていますので、医療機関で購入。集団接種については、入札で購入 ★23ゼラチン含有していないもの ★24各医療機関で購入 ★25集団接種については町で購入。個別接種については各医療機関希望のメーカーワクチンを購入 ★26個別接種については医療機関が各自購入、ワクチン代は委託料に算入している。集団接種分は町で一括購。
★27ゼラチンを含まないもの(ゼラチンを含まないメーカーがない場合は最もゼラチン含有量の少ないもの)
★28集団接種の場合は各医療機関希望のメーカーのワクチンを購入、個別接種はワクチン代込みの委託 ★29各医療機関が個別にメーカーより購入
★30各医療機関で購入 ★31医療機関より購入 ★32各医療機関で希望のメーカーワクチンを購入。市は委託料にワクチン代を含めて支払い。
★33ゼラチン、アルブミン含有のないもの

大阪府医師会予防接種センター月別実施成績（平成14年度）

平成6年6月大阪府医師会保健センターの建物が竣工したときに、大阪府医師会は、近隣の医療機関で予防接種を受けにくい府民などに予防接種を実施することが必要であるという判断から、大阪府医師会予防接種センターを設営し活動を開始させた。

ここでは主として、海外渡航者に対する予防接種、府内の医療機関で接種をためらわれた者に対する接種、定期の接種時期からはずれた者に対する接種、予防接種に関する相談事業などをおこなってきた。

この事業は大阪府医師会の理事をセンター長とし、大阪府医師会予防接種委員会の委員、府医の会員のなかで協力することを申し出た医師ならびに保健医療センターの事務職員・看護婦などによって行なわれており、毎週1回火曜日と最終週の木曜日に予防接種センターが開設されている。

実施されている予防接種の種類は三種混合（DPT）、ポリオ、麻疹、日本脳炎、インフルエンザ、水痘、A型・B型肝炎、コレラ、狂犬病、結核など黄熱病を除く殆どのものが実施されている。

事業成績のあらまは、予防接種実施者（延べ）、抗体検査者、相談者などで、平成14年度は3,882人である。この内、海外渡航者が960人を占めている。各ワクチン別の実施内容を付表に示した。

〔付表〕

大阪府医師会予防接種センター 月別実施一覧表(平成14年度)

	公費は内数												合計	公費	公費												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月															
三種混合	21	14	21	15	25	15	18	10	13	7	26	19	10	6	9	6	5	3	14	11	12	6	15	8	189	120	
二種混合	6	0	14	0	9	0	10	2	9	3	9	0	10	1	6	1	2	0	2	1	6	0	10	2	93	10	
ジフテリア	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	0
破傷風	13	0	14	0	18	0	51	0	16	0	25	0	23	0	13	0	17	0	15	0	27	0	44	0	276	0	
ポリオ	75	1	43	2	35	0	63	2	31	1	28	0	43	2	29	1	23	1	29	2	28	0	34	1	457	13	
麻疹	18	2	14	3	11	3	8	2	9	1	9	3	12	6	10	5	6	3	4	1	7	0	13	1	121	30	
風疹	14	5	18	9	12	6	12	1	10	4	6	3	7	3	7	2	7	2	9	4	6	1	10	2	118	42	
日本脳炎	23	14	22	11	31	15	40	18	35	15	19	4	16	4	16	6	9	4	7	2	8	4	14	4	240	101	
ツベルクリン反応	5	0	9	1	4	0	7	0	3	0	4	1	4	0	7	2	7	0	3	0	8	0	11	0	72	4	
BCG	5	2	1	1	2	1	7	0	3	0	8	5	3	0	2	1	1	1	1	1	0	4	0	1	0	38	11
インフルエンザ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	5	118	27	51	16	16	0	1	1	2	0	209	49	
おたふくかぜ	10	0	8	0	9	0	8	0	10	0	6	0	8	0	7	0	4	0	6	0	4	0	16	0	96	0	
水痘	8	0	2	0	3	0	3	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	
B型肝炎	22	0	154	0	241	0	121	0	24	0	23	0	35	0	19	0	28	0	216	0	32	0	37	0	952	0	
A型肝炎	34	0	20	0	40	0	42	0	26	0	46	0	54	0	29	0	28	0	19	0	36	0	36	0	410	0	
狂犬病	13	0	7	0	13	0	18	0	9	0	8	0	9	0	14	0	15	0	4	0	9	0	11	0	130	0	
コレラ	1	0	0	0	3	0	4	0	3	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	15	0	
ガンマグロブリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
抗体検査	19	0	17	0	25	0	23	0	6	0	16	0	13	0	9	0	1	0	89	0	9	0	32	0	259	0	
相談	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
証明書	19	0	22	0	16	0	33	0	8	0	5	0	12	0	7	0	16	0	2	0	12	0	20	0	172	0	
合計	308	38	387	42	498	40	469	35	220	31	240	35	284	27	302	51	223	30	432	21	209	12	310	18	3882	320	

海外渡航者	103	74	99	153	70	52	75	53	61	43	76	101	960
-------	-----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

大阪市における予防接種の実施成績に関する研究

大國 英和（大阪市環境保健協会）

半野田孝郎（大阪市保健所感染症対策課）

<大阪市における麻しんワクチン定期接種の実施成績>

平成14年4月から平成15年3月迄の1年間に、大阪市において実施した麻しんワクチンの実施状況について、各区ごとにワクチンの実施率と摂取見合せ者数を比較しながら報告する。昭和63年12月19日に予防接種実施規則第21条が改正され、麻しんの定期的予防接種に当たって、同時に風しんおよびおたふくかぜの予防接種を受ける旨の申し出があった者については、乾燥弱毒性麻しん・おたふくかぜ・風しん混合ワクチン（MMRワクチン）を使用することができることとなった。

これをうけて大阪市も平成元年4月からMMRワクチンを接種することになったが、ワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生が全国的に問題となり、そのためMMRワクチン接種の慎重接種の時期を経て、麻しん単独ワクチンの使用を原則としたワクチン接種方式、平成5年4月27日の厚生省によるMMRワクチンの見合せ通達以降は麻しんワクチン単独の接種となっている。平成14年度の大阪市における麻しんワクチンの接種者数は22,980人であり、実施率は対象人員を平成12年4月から平成13年3月迄の出生者24,810人とすると92.1%となる。ちなみにこの接種率は平成6年度64.7%、平成7年度84.2%、平成8年度79.2%、平成9年度79.6%、平成10年度79.6%、平成11年度85.1%、平成12年度87.0%、平成13年度は92.6%である。

大阪市内の各区ごとの対象人員と接種率を表に示した。接種率の高い区は天王寺区、城東区、平野区、都島区、西淀川区、すべて97%を超えた。接種見合わせ者の総数は921人、3.8%であり平成6年までの0.5~0.7%という数字にくらべて平成7年度からは急激に増加した。この原因として最近の医療事故の新聞報道などが反映していることも勘案される。麻しんワクチンに含有されていたゼラチンによるアレルギーの発生が話題になったが、現時点ではどのメーカーの製品もゼラチンは含有されていないシタマゴアレルギーも関係のないことが判っている。各区ごとの接種見合せ者率を比較すると、城東区、中央区、大正区、城東区が多いようである。大阪市では、市内の医療機関に接種を委託しており、どのワクチンメーカーの製品を使用するかは、各医療機関の自由選択となっている。またワクチンの接種費用は全額公費負担である。

麻疹予防接種実施成績（平成14年度）

区分 區別	対象人員	接種者数	接種率%	見合せ者数 (%)
総 数	24,810	22,980	92.6%	921 (3.8)
北 区	736	694	94.3%	29 (4.0)
都 島 区	794	776	97.7%	24 (3.0)
福 島 区	545	529	97.1%	20 (3.6)
此 花 区	591	561	94.9%	16 (2.7)
中 央 区	417	404	96.9%	22 (5.2)
西 区	641	585	91.3%	20 (3.3)
港 区	810	725	89.5%	18 (2.4)
大 正 区	620	560	90.3%	30 (5.1)
天 王 寺 区 *	519	514	99.0%	27 (4.9)
浪 速 区	431	341	79.1%	13 (3.7)
西 淀 川 区	1,017	989	97.2%	50 (4.9)
淀 川 区	1,548	1,373	88.7%	39 (2.8)
東 淀 川 区	1,958	1,582	80.8%	63 (3.8)
東 成 区	780	705	90.4%	43 (5.7)
生 野 区	1,217	1,101	90.5%	35 (3.0)
旭 区	859	804	93.6%	36 (4.2)
城 東 区	1,594	1,567	98.3%	85 (5.1)
鶴 見 区	1,511	1,334	88.3%	67 (4.7)
阿 倍 野 区	810	781	96.4%	31 (3.8)
住 之 江 区	1,287	1,211	94.1%	53 (4.2)
住 吉 区	1,632	1,576	96.6%	32 (2.0)
東 住 吉 区	1,273	1,215	95.4%	47 (3.7)
平 野 区	2,450	2,395	97.8%	89 (3.6)
西 成 区	770	656	85.2%	32 (4.0)

対象人員 平成13年1月～12月の出生数

*・・・府医予防接種センターが天王寺区にあるため高い数字となった

卒後の予防接種実地研修の機会について —NPO 法人「大阪新興・再興感染症対策協議会」の発足に向けて—

山西 弘一、大藪 恵一（大阪大学医学部）
馬場 宏一（ばば小児科） 大國 英和（大阪府医師会）
小池 通夫（和歌山県立医科大学） 清野 佳紀（大阪厚生年金病院）
小林陽之助（関西医科大学） 竹村 司（近畿大学医学部）
玉井 浩（大阪医科大学）
山野 恒一、廣田 良夫（大阪市立大学医学部）
奥野 良信（大阪府公衆衛生研究所）

疾病の治療を目的とする保険診療では給付外として取り扱われていることから明らかなように医師が行う医療行為の中でも、予防接種は“健康人への医療行為”という点で、特異な存在です。さらに予防接種は、生活習慣病の予防のための指導などとは異なり、“注射”という身体への侵襲を伴う方法を用いて免疫するため、その効果や副作用に関する知識や経験が高度に要求されます。また予防接種は、小児期に受けるべきものが多く、その結果、小児医療に精通した小児科医の協力が市町村の予防接種事業の推進には不可欠といっても過言ではありません。しかし、卒後間もない研修医にとって、予防接種を実地に研修できる機会は皆無に等しいのが現状です。

特定非営利活動（NPO）法人「大阪新興・再興感染症（OSS）対策協議会」は、在阪 5 大学（医学部）の付属病院と関連する病院で研修中の医師達が、地域の診療所、医師会の協力を得て、遅くとも卒後 5 年以内に予防接種の実施に必要な経験を積むことができるようなシステムを創れるよう支援したいと考えています。

1. NPO—OSS 協議会設立の趣旨、目的、法人格の必要性

高病原性鳥インフルエンザ、重症急性呼吸器症候群（Severe Acute Respiratory Syndrome、SARS）、後天性免疫不全症候群（Acquired Immuno-Deficiency Syndrome、AIDS）や麻疹、さらに結核など新興・再興感染症の存在は現在を生きる私達にとって常に大きな脅威です。人類はこれらの脅威から逃れるため様々な英智を結集し、戦ってきました。しかし、近年の新しいテクノロジーを駆使した研究、開発の進歩、伝播防止の努力にも拘らず、感染症は新興・再興を繰返し、脅威はむしろ増大していると言っても過言ではありません。

1974年世界保健機関（World Health Organization、WHO）は予防接種拡大計画（Expanded Programme on Immunization、EPI）を発表しました。以来、各国はワクチ

ンで予防可能な感染症の制圧に熱心に取り組んでいます。1980年のWHOによる痘そう世界根絶宣言は、感染症の制圧にワクチン接種という方法が決定的に有効であることを証明しました。近い将来、痘そうに次いでポリオ、さらに麻疹の撲滅も世界中の多くの国々で実現する見通しです。

一方、わが国の状況はきわめて憂慮すべきもので、未だ年間10万人～30万人の麻疹患者が発生し、小児だけでも50名～100名が死亡していると推計されています。そして、そのほとんどがワクチンさえ受けていたら感染死を免れたであろうと考えられています。米国では麻疹生ワクチンの接種を徹底させた結果、最近の数年間には年間の感染者数がわずかに10名程度というところまで減少させることに成功しました。しかも、これら残存する十数名の麻疹患者もその6割が日本からの旅行者が感染源と考えられており、米国からの「日本は麻疹の輸出国」との恥ずかしい非難を甘んじて受けざるを得ないという誠に情けない状況下にあります。

わが国のこのような状況を少しでも改善し、麻疹などワクチンで予防可能な疾病に対しては、その接種率の向上を目的に、また、その他の感染症に対しては早期診断、早期治療とより有効な拡大防止法の研究開発を目指して私達は『特定非営利活動法人 大阪新興・再興感染症対策協議会』を設立し、広く公益の増進に貢献したいと考えています。そして、その具体的な活動として、ひとつは広く一般市民を対象とした講演会の定期開催を、もうひとつは地域に根ざした予防接種協力医師の養成事業に尽力したいと考えています。

しかし、私達の活動は営利を目的とするものではなく、会員の自発的な奉仕の精神に基づくものであることが広く国民に理解され、支持されるためには、会の目的、結果の公開とさらに資金の保有状況や契約関係を明白にする必要があります。このような趣旨目的の活動を実践するためには、本会を特定非営利活動法人として設立するのが最もふさわしいと考えるに至りました。

2. 法人設立前の経緯

2001年9月

厚生科学研究等の成果を、広く国民にわかり易く発表し、科学技術に対する国民の理解と関心の喚起を目的とした、いわゆる「市民講座」の開催を厚生労働省が呼びかけたのに応じ、有志がその科学研究助成金を得て、公開講演会の開催を目的とし、また特定非営利活動法人を念頭にした任意団体「大阪新興・再興感染症研究会」を設立した。

2002年1月13日

大阪国際交流センターにおいて、同研究会の主催（後援：大阪府、大阪府医師会ほか）で、講演会「大阪府民とかかりつけ医のためのインフルエンザ講座」を開催、約500名の参加を得た。

2003年5月7日

大阪府中央公会堂において、同研究会と大阪感染症流行予測調査会との共催（後援：大阪府、大阪市、大阪府医師会、大阪小児科医会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会）で、講演会「これからの学校伝染病と危機管理」を開催、約870名の府民、市民の参加を得た。

2003年10月15日 午前8:00～9:00

阪大医学部微生物学教室（山西研）において、NPO-OSS協議会設立に関して、発起人会（山西、馬場、大國、小池、清野）を開催。

2003年1月12日 午後2:00～3:00

阪大医学部研究棟セミナー室において、NPO-OSS設立総会開催、定款ほかすべての議案が了承された。

2003年11月19日

NPO法人設立申請書（代表 山西弘一）を大阪府に提出。

3. 特定非営利活動法人 大阪新興・再興感染症（NPO-OSS）対策協議会定款（抜粋）

（名称）

第1条 この法人は、特定非営利活動法人 大阪新興・再興感染症対策協議会という。

（目的）

第3条 この法人は、一般国民と医師に対して新興・再興ならびに市中感染症の診断、治療と予防治法に関する知識の普及と、予防接種を担当する医師に必要な資質の向上を図る事業を行い、もって広く公益に貢献することを目的とする。

（事業の種類）

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

（1）特定非営利活動に係る事業

- ①一般国民を対象に新興・再興ならびに市中感染症に関する知識を平易に発表し、医学に対する一般の理解を深める講演会事業
- ②予防接種を担当する医師に対して、感染症の診断、治療と予防治法に関する知識と技術の習得を促すことによって保健、医療、福祉の増進を図る研修会事業（ワクチンカレッジ Vaccine college）

（種別）

第6条 この法人の会員は、次の2種類とし、正会員をもって特定非営利活動促進法上の社員とする。

- （1）正会員 この法人の趣旨及び目的に賛同し、当法人が行う事業の支援に必要な医学全般にわたる広範な知識と技量を有する者であって、予防接種を担当する医師としての資質の向上を目指して研修し、または指導し、もしくは講義するために入会した個人、並びにこの法人の運営を支援するために入会した個人

(2) 賛助会員 この法人の趣旨及び目的に賛同し、その事業を賛助するために入会した個人又は団体

(種別)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 10人以上20人以内

(2) 監事 1人以上2人以内

2 理事のうち、1人を理事長、1人を副理事長とする。

3 理事及び監事は、総会において選任する。

4 理事長、副理事長は、理事の互選により定める。

(任期)

第14条 役員の任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 前2項の規定に関わらず、任期の末日において後任の役員が選出されない時は、その任期を任期の末日後、最初の総会が終結するまで伸長する。

(種別)

第18条 この法人の総会は、通常総会と臨時総会とする。

(構成)

第19条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第20条 総会は、以下の事項について審議の上、議決する。

(1) 定款の変更

(2) 解散

(3) 合併

(4) 事業計画及び収支予算並びにその変更

(5) 事業報告及び収支決算

(6) 役員の選任又は解任、職務及び報酬

(7) 入会金及び会費の額

(8) 長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄

(9) 事務局の組織及び運営

(10) その他運営に関する重要事項

(構成)

第28条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第29条 理事会は、この定款で別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

(1) 総会に付議するべき事項

(2) 総会の議決した事項の執行に関する事項

(3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

附則

3 この法人の設立当初の役員は、第12条第3項及び第4項の規定にかかわらず、次に掲げるとおりとし、その任期は、第14条第1項の規定にかかわらず 年 月 日までとする。

(1) 理事長

氏名 山西弘一 大阪大学大学院医学系研究科 微生物学講座教授医学部長

(2) 副理事長, 事務局

氏名 馬場宏一 (医) 宏知会 ばば小児科 院長

(3) 理事

氏名 五十嵐敢 NTT 西日本大阪病院 院長
生田和良 大阪大学微生物病研究所 ウイルス免疫分野教授
大国英和 大阪府医師会 予防接種問題検討委員会委員長
大藪恵一 大阪大学大学院医学系研究科小児発達医学講座 小児科学教授
小池通夫 和歌山県立医科大学名誉教授
小林陽之助 関西医科大学小児科学教室教授
清野佳紀 大阪厚生年金病院院長 (岡山大学名誉教授)
竹村司 近畿大学医学部小児科学教室教授
玉井浩 大阪医科大学小児科学教授
永井利三郎 大阪大学医学部保健学科 看護学専攻母性小児看護学講座教授
廣田良夫 大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学講座教授
本田武司 大阪大学微生物病研究所 細菌感染症研究分野教授
山野恒一 大阪市立大学大学院医学研究科 小児医学教授

(4) 監事

氏名 北村春江 北村法律事務所 弁護士, (前芦屋市市長)
吉田烈 吉田烈事務所 公認会計士

6. 会員構成

この法人の趣旨に賛同し、その目的を達成するために自発的な奉仕の精神に基づいて、この法人が主催（共催）する事業に参加し、支援していただける個人又は団体をもって本会は構成されます。

(1) 一般会員（入会金、年会費なし）

厚生科学・文部科学分野の研究者と教育者、ならびに医療・保健・福祉事業に携わる医師、医療従事者と大阪府下の市町村職員など、本会が主催（共催）する講演会、研修会への参加に協力していただける全ての人をもって、一般会員は構成されます。

(2) 正会員＝役員＋カレッジ会員（入会金 1,000 円 年会費 2,000 円）

役員（理事、監事）、ならびに本法人が主催するワクチンカレッジ Vaccine college の会員として入会した個人で、カレッジ会員は、次の3種に分かれます。

① 予防接種指導医、クリニック会員

市町村に協力して「定期」の予防接種を、予約制（ワクチン外来）で実施しておられる診療所の医師であって、予防接種の研修を希望する卒後1～3年の医師に“予防接種の実際”を指導していただける先生（月1～2回、1回2～3時間、1年間を目安とします）

② 予防接種研修医、研修会員

予防接種研修協力医療機関において、指導医の下でワクチンによる感染症の予防を目的に、少なくとも1年以上を目安に、接種医として従事することを目的に入会した個人（他に、年間2～3回の研修会に参加していただく予定です）

③ 講師会員

この法人が主催（共催）するワクチンカレッジ Vaccine college（症例検討・研修会）、研究会、講演会の企画、立案、開催に自発的な奉仕の精神に基づいて参画していただける学識経験者であって、理事会（役員）の推薦を受けて入会していただいた方

(3) フィールド（Field、F）会員（入会金、年会費なし）

この法人の目的に賛同し、自らが所属しておられる職域又は専門分野（フィールド）との関係において、本法人の事業活動への一般市民の参加、会員数の拡大などに協力していただける方

(4) 特別会員（入会金、年会費なし）

この法人の趣旨、目的に賛同できる学識経験者であって、理事会（役員）の相談に応じて、意見を述べたり、協力していただける方

(5) 賛助会員（入会金 20,000 円 年会費【1口】 50,000 円以上）

この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体。

7. この法人の略称は、NPO-OSS 協議会とする。

本研究の一部は、(財) 予防接種リサーチセンター・厚生労働省「ワクチン・接種方法研究班」、(財) ヒューマンサイエンス振興財団「新興・再興感染症研究事業」、並びに大阪府・大阪市が出資する「大阪感染症流行予測調査会」からの助成によるものである。